

モモ「はつひめ」の予備摘果時期

福島県農業総合センター果樹研究所栽培科

1 部門名

果樹—モモ—栽培

2 担当者

赤井広子・安達義輝・増子俊明

3 要旨

モモ「はつひめ」の予備摘果の時期は、満開後 28 日と満開後 35 日に行った場合の縦径に有意な差は認められず、予備摘果時期を7日程度遅らせても肥大に影響はない。

- (1) 「はつひめ」の 2016 年の満開は4月 14 日、収穫盛期は7月4日、満開から収穫盛期までの成熟日数は 81 日であり(表1)、2009～2015 年の7か年平均と一致した。
- (2) 「はつひめ」の着果管理において、花粉が無いため摘蕾は行わず、予備摘果の時期を満開後 28 日(以下、28 日摘果区)または満開後 35 日(以下、35 日摘果区)と変えて行った場合、縦径は満開後 55 日から 70 日まで 28 日摘果区が 35 日摘果区よりわずかに上回ったが、それ以降は同等であった(図1)。また、収穫果実の大きさは 28 日摘果区が 249g程度、35 日摘果区が 257g程度と差がなかった。

表1 生育経過と着果管理の時期(2016 年)

	月/日	満開後日数
満開	4/14	—
人工受粉	4/12 および 4/15	—
予備摘果	5/12 または 5/19	28 日または 35 日
仕上摘果	6/3	50 日
修正摘果	6/15～23	62～70 日
収穫始期	6/30	77 日
収穫盛期	7/4	81 日

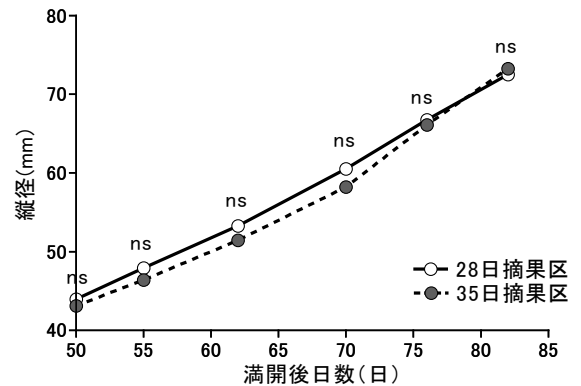


図1 予備摘果の時期の差による縦径の肥大
(注)各時期ともウィルコクソン検定で有意差なし

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成21年度～28年度
- (2) 研究課題名 県オリジナル果樹品種の安定生産技術確立
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成 19 年度普及に移しうる成果 モモ新品種「はつひめ」の育成
- (2) 平成 20 年度東北農業研究成果情報 7 月上中旬に収穫できる食味良好なモモ白肉新品種「はつひめ」
- (3) 平成 27 年度参考となる成果 モモ「はつひめ」の高品質果実生産のための収穫時期